

# 代々木図書館新聞

よよぎとしょかんしんぶん

渋谷区立代々木図書館 03-3370-7566

〒151-0053 渋谷区代々木 3-51-8 代々木区民施設 4F

Vol. 30  
2014年9月15日

## 渋谷の牧場と文学

### 文明開化のハイカラ職業

●独歩と花袋と牛乳  
かつて小田急線参宮橋駅の近くに牧場がありました。現在は新日鉄の研修センターになっており、当時の様子を知ることができます。田山花袋の『東京の三十年』によると、明治29年の渋谷は、武蔵野特有の林をもった低い丘と水車や茶畑があるのどかな村でした。国木独歩が住んでいた家（今のNHKのあたり）の横は牛乳屋で、田山花袋が訪ねて行くと、国木田は



左から『目で見る渋谷区の100年』郷土出版社／『牛乳と日本人』吉田豊著 新宿書房／『ふるさと渋谷の昔がたり 第1集』渋谷区教育委員会編 渋谷区教育委員会



右：江東区亀戸の普門院にある「牛飼の歌」の歌碑  
左：国木田独歩住居跡の木碑。道路を挟んで隣に、NHKのビルが見えます

縁側に出て隣の牛乳屋を呼び、搾りたての牛乳にコーヒーを入れてご馳走してくれたということです。明治時代の牛乳屋さんには隣に牧場があり、その場で牛乳を搾り売っていたのです。

●将軍と牛乳  
享保12年徳川吉宗が千葉の嶺岡に牧場をつくり、海外から輸入した牛3頭を放牧したのが酪農の始まりといわれています。その後、徳川家斉が嶺岡の牛の一部を江戸に移し、白牛酪（白

●渋谷の牧場  
『渋谷区史』によると、明治後期の区内には61もの搾乳場がありました。特に、消費地帯への運搬に便利であったことから甲州街道沿いの地域に搾乳場が集中していました。中には、第二次大戦後まで続いた牧場もあったようです。西原の羽衣舎牧場は、現在は渋谷区スポーツセンターになっており、広尾の七星舎は、跡地のビルにその名をとどめています。

牛の乳を煮詰めて型に入れ乾燥させたもの）を製造するようになりまし。攘夷主義者であった斉昭もまた熱心な牛乳の愛好者でした。毎日5合以上も飲んでいました。

●明治の牛乳屋  
徳川幕府がつぶれると、武士は収入を失ってしまいました。そこで大久保利通ら明治政府が勧めたのが牛乳事業です。世の中は文明開化で、牛乳の需要が高まっていました。榎本武揚、山県有朋といった政府の高官も大名・旗本の屋敷跡等を使い、搾乳業を始めています。アララギ派の歌人で有名な伊藤左千夫も、東京本所で牛乳屋を営んでいました。自らを牛飼いとよび、牛飼が歌よむ時に世の中のあらたしき歌おほひに起るという歌をつくっています。

### 代々木図書館2014年9月の予定

9月

- 9月18日(木) 15時～15時30分 おはなし会
- 9月20日(土) 15時～15時30分 おはなしとこうさく会
- 9月25日(木) 15時～15時30分 おはなし会
- 9月27日(土) 9時～ 雑誌リサイクル

### 2014年9月の休館日

9月 16(火)・21(日)・23(火)・30(火)

この新聞は代々木図書館で働いているスタッフが作っています。



# 代々木図書館 休館のお知らせ

代々木図書館は、代々木区民施設耐震補強及び改修工事のため、平成26年10月1日(水)から平成27年3月31日(火)まで休館します。利用者の皆さまにはご不便をおかけしますが、何卒よろしくお願いたします。なお、代々木図書館休館中、予約資料の貸出・資料の返却等、一部のサービスにつきましては、10月4日(土)より、新たに設置をしますサービススポットにて行います。

◆場所  
はつらつセンター参宮橋1階

◆開設日  
平成26年10月4日(土)から  
平成27年3月25日(水)

◆開館時間  
火曜日から金曜日

正午から午後7時

土曜日・日曜日・休日  
正午から午後5時

◆休館日  
月曜日・年末年始

(12月29日から1月3日)

◆取扱サービス

利用登録・予約資料の貸出・資料の返却・予約受付・リクエストの受付  
※資料の閲覧はできません

## 渋谷の文学③ 桐野夏生 人は変わるか

15歳のイオンは、代々木公園村で暮らすホームレス。8歳までハウスで「きょうだい」と共に育ちました。3歳上の双子、鉄と銅が教えてくれたのは、「おとなは三種類だ。優しいか、優しくないか、どっちつかずか。優しいおとなは滅多にいない。」憧れていた鉄と銅に再び会いたくて、イオンは老婆から拳銃を奪い、地下へ潜ります。

渋谷の下に広がる地下鉄・暗渠の世界と闇に住む人々。地獄へ降りて行くような、イオンの未来は。そして、「優しいおとな」とは。

貧富の格差が広がり、荒廃した近未来の渋谷。それでも、不思議と希望を持ち続けることのできる結末です。

イオンが、7分200円のコインシャワーを浴びるといふ贅沢を味わったのは、代々木駅前でした。渋谷川の支流、いもり川も出てきます。



『優しいおとな』桐野夏生著 中央公論新社

## 最近これ読みました⑩

『茨木のり子の家』茨木のり子詩 平凡社

茨木のり子は、いとこの建築家と一緒にみずから家の設計をしました。ピロティや居間、書斎などの写真が、詩やエッセイとともに紹介されています。

亡くなった後に見つけられた「Y」と書かれた箱。その中には、先立った夫に向けて書かれた詩がはいつていました。そんな貴重な自筆原稿や、『倚りかからず』に出てくる椅子も載っていて、茨木のり子の世界に触れることができます。



## ●お知らせ 代々木図書館新聞 休刊のお知らせ

代々木図書館新聞は、代々木図書館休館に伴いまして、しばらくの間お休みとさせていただきます。半年後の復刊の際には、皆様にますます楽しんで頂けますよう、スタッフ一同さらに努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



## 編集後記

朝の連続ドラマ「花子とアン」で、蓮子と駆け落ちした宮本龍一を演ずる中島歩は、国木田独歩の玄孫(ひ孫の子)にあたる25歳。名前の歩(あゆむ)も、独歩から譲り受けているとのこと。恋に破れた独歩が丘の上の家に暮らし、訪ねて来た田山花袋らを牛乳でもてなしたのも同じ歳でした。そして、独歩旧居跡の木碑が立つのは、現在NHKの建っている丘。118年の時を超えて二人の青年が並び立ち、武蔵野を眺め渡す光景が目には浮かびます。

ご紹介した本は、すべて渋谷区立図書館で借りられます。